

ポイント

国内初の『5軸同時制御の積層 + 切削ハイブリッド3Dプリンター』を開発

- 5軸同時制御による積層時間短縮と表面仕上げ加工を可能にする、国内初の積層 + 切削ハイブリッド3Dプリンターを開発
- 長年にわたる専用工作機械開発の中で蓄積された豊富な技術やノウハウを革新的な自社商品開発に生かす
- パートナー企業との共同プロジェクトや産学官連携に積極的に取り組み、新製品開発につなげる

企業基本情報

所在地	静岡県浜松市北区細江町中川7000番地27
電話/FAX	053-523-2311/053-523-2321
URL	https://www.enomoto-net.co.jp/
代表者	代表取締役社長 榎本 晴康
設立	1901年
資本金	9,000万円
従業員数	108人



生産性向上

需要獲得

担い手確保

会社概要

同社は、1901年に鋳物工場として創業して以来、116年余の長い歴史をもつ。現在は、主にメーカー向けの専用工作機械を設計製造しており、自動車部品サプライヤーを中心に同社製の設備が導入され、その生産を支えている。自社商品の開発にも熱心に取り組んでおり、この度産学官連携事業により国内初となる「5軸同時制御の積層 + 切削ハイブリッド3Dプリンター」を開発。同製品は、生産革新につながる画期的な装置として多くの期待を集めている。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

国内初となる、「5軸同時制御の積層 + 切削ハイブリッド3Dプリンター」を開発

同製品は、5軸同時制御の積層造形機構と切削加工機構を有しており、一般的な3Dプリンターでは困難な中空形状やアンダーカット形状などの複雑な形状も短時間で積層することができ且つ製品価値を上げる為の仕上げ加工も同機械内で行うことができる。また、素材としても、汎用樹脂からスーパーエンブラまで幅広い材料に対応し、試作や多品種少量生産での活用も期待できる。



ハイブリッド3Dプリンターと榎本社長

豊富な技術ノウハウの蓄積を革新的な自社製品開発に生かす

同社は、1970年に省力化機械の製造を開始して以来、長年にわたってメーカー向けの専用工作機械の開発を行う中で、豊富な技術やノウハウを蓄積してきた。自社商品の開発にもこうしたノウハウが最大限活用されている。5年前に開発した5軸制御高精度・難削材加工機（CVN-50）の5軸制御ノウハウがあったこともあり、今回のハイブリッド機は開発スタートから1年間という驚くべき短期間で、試作機を完成させることができた。



5軸制御高精度・難削材加工機（CVN-50）

商品開発を長年継続し、ホビーから研究施設・ラボ向けまでの多品種な自社商品展開

同社は、1975年から販売を開始したホビー用の超小型工作機械（Aminiシリーズ）から始まり、当時まだ新しかったパソコンで制御する小型工作機械（CNCシリーズ、FAシリーズ）を学校教材として開発し、国内の工業高校などに提供してきた。その後、海外市場（ヨーロッパ）にも販路を拡大した。4年前には、自社商品開発部門を独立させ、顧客に新しい価値を創造できるメーカーとして、日々挑戦・研鑽を重ねている。



学校教材として1983年に発売した小型NC工作機械（CNC1000）